

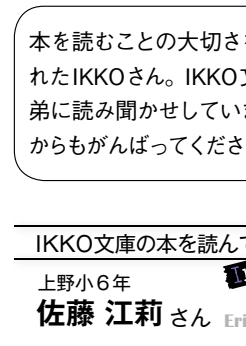


IKKO文庫の本を読んで知らないことを勉強しています。本を贈ってくれてありがとうございました。新しい本を楽しみに待ってます。

IKKO文庫の本を読んで
Interview
弁城小6年
太田 都琴 さん Mikoto Ota

私は本を読まなかったから読解力がない。必要な情報を得るには、感性や感覚で最小の時間で要所だけをとらえるようにしている。その見方はステージから人を見るのと同じ。聞いていない人とすぐ聞いている人に目が

「いい学校に行くことが勉強ではなく1+1+2も、すべての物事には意味があって、人生の1年1年でその意味を理解することが将来とても大切で、それが勉強なんだ」と。人生は台本どおりにはいかない。丸暗記だけでは、社会で一番必要な臨機応変さや柔軟性、応用力が身につかない。その力をつけることが勉強であり、教育だと思っています。だから、私の人生、いつも空回り。美容師になって人一倍努力しても、技術の根本を理解しないままだったから、なかなか報われず、上達に散々苦労しました。



本を読むことの大切さを教えてくれたIKKOさん。IKKO文庫の本を弟に読み聞かせています。これからもがんばってください。

IKKO文庫の本を読んで
Interview
上野小6年
佐藤 江莉 さん Eri Satou

学校から「1+1+2」のような教育を受け、否応なしに勉強させられることに疑問を持っていました。今考えると、授業中にほかの事を考えたり、宿題もありしなかったから、姉たちに比べ、自分だけ成績が悪かった。いろんなことがコンプレックスになっていきましたね。本を読むことを家族から薦められても読まなかった。とにかく「勉強をしつかりし、いい大学、いい会社に入って、結婚して家庭を持ちなさい」という時代。でも、それは私が選んだ道ではなく、人に決められた人生。そんなレールをひかれた人生は受け入れられなかった。でも、こう教えてくれたら、私は勉強が好きになったと思うの。

「いい学校に行くことが勉強ではなく1+1+2も、すべての物事には意味があって、人生の1年1年でその意味を理解することが将来とても大切で、それが勉強なんだ」と。人生は台本どおりにはいかない。丸暗記だけでは、社会で一番必要な臨機応変さや柔軟性、応用力が身につかない。その力をつけることが勉強であり、教育だと思っています。だから、私の人生、いつも空回り。美容師になって人一倍努力しても、技術の根本を理解しないままだったから、なかなか報われず、上達に散々苦労しました。

小

学校から「1+1+2」のような教育を受け、否応なしに勉強させられることに疑問を持っていました。今考えると、授業中にほかの事を考えたり、宿題もありしなかったから、姉たちに比べ、自分だけ成績が悪かった。いろんなことがコンプレックスになっていきましたね。本を読むことを家族から薦められても読まなかった。とにかく「勉強をしつかりし、いい大学、いい会社に入って、結婚して家庭を持ちなさい」という時代。でも、それは私が選んだ道ではなく、人に決められた人生。そんなレールをひかれた人生は受け入れられなかった。でも、こう教えてくれたら、私は勉強が好きになったと思うの。



近くの本屋さんに置いていないような本ばかりのIKKO文庫。ぼくたちが読んでもとても読みやすく、今まで6冊ぐらい読みました。

IKKO文庫の本を読んで
Interview
伊方小5年
岩下 紘汰 くん Kouta Iwashita



伊方小



上野小



金田小



市場小

福智町観光大使 IKKOさんがさらにチャリティー収益で本を寄贈

全校のIKKO文庫が充実

「30代半ばから真の『望郷』が分るようになった」というIKKOさん。そんな故郷への想いが形になり、昨年の観光大使就任記念イベントの収益で、町内全8校に「IKKO文庫」が設置されました。今回、5月に開催した福岡市でのチャリティショーの収益でさらに充実される「IKKO文庫」。その読者である故郷の子どもたちへの想いをうかがいました。



© Koji Miyazaki



方城中



赤池中



金田中

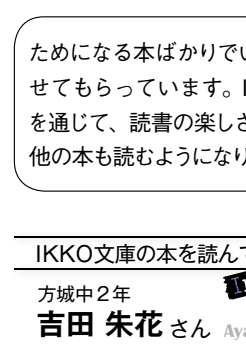


弁城小



一番好きな本は「ほっとする言葉55」です。その内容の影響で、マイナス思考だった自分が、プラス思考に考えられるようになりました。

IKKO文庫の本を読んで
Interview
赤池中3年
弘中 咲希人 くん Sakito Hironaka



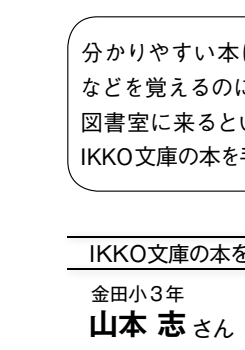
ためになる本ばかりでいつも読ませてもらっています。IKKO文庫を通じて、読書の楽しさが分かり、他の本も読むようになりました。

IKKO文庫の本を読んで
Interview
方城中2年
吉田 朱花 さん Ayaka Yoshida



「泣いた赤鬼」が一番のお気に入り。友情の大切さを考えさせられました。本は心を動かす力があると感じています。

IKKO文庫の本を読んで
Interview
金田中3年
生野 光稀 くん Mitsuki Syouno



分かりやすい本ばかりで、漢字などを覚えるのに役立ちました。図書室に来るといつも一番先にIKKO文庫の本を手に取ります。

IKKO文庫の本を読んで
Interview
金田小3年
山本 志 さん Kokoro Yamamoto

